

# 脳神経外科

## 名古屋大学医学部 脳神経外科専門研修プログラム

豊橋市民病院は、東三河地区の中核病院として救命救急センターを有する3次医療機関で、基本的に救急車は全例受け入れており、症例に偏りはありません。

当院の脳神経外科は現在、専門医4名、後期研修医4名で構成されており、チームワークを生かして様々な診療に取り組んでいます。

2022年度の手術件数は合計で491件(脳腫瘍43件、クリッピング24件、血腫除去44件、ほか。そのうち血管内治療は183件[血栓回収70例、動脈瘤塞栓術39例、頭動脈ステント留置術47例、ほか。])となっています。

都心部からは離れていますが、科の雰囲気が良いこともあってか当院の脳神経外科を志す若手は途切れることなく、当科の後期研修医のほとんどは当院で初期研修を積んでいます。そんな当科と一緒に働いてみませんか。後悔はさせません。

当院の手術件数 **491件** (2022年度)



### ▶ 研修例

名古屋大学の医局に属しており、基本的には医局人事に従います。後期研修2年目後半から4年目後半までに、他の連携・関連施設へ異動となり、その後名古屋大学病院へ帰局することが多いです。

### 基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

#### 主な連携施設

岡崎市民病院 ・ 国立病院機構名古屋医療センター ・ 静岡済生会総合病院 ・ JCHO中京病院  
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 ・ 名古屋掖済会病院 ・ 小牧市民病院  
安城更生病院 ・ 公立陶生病院 ・ 大垣市民病院 ・ 西尾市民病院など

# 耳鼻いんこう科

## 名古屋市立大学病院 耳鼻咽喉/頭頸部外科専門研修 プログラム

1.基幹施設は名古屋市内、連携施設は愛知県内を中心に東海地区の都市部に広く分布し、高度診療と地域医療の幅広い研修が可能です。2.基幹施設と連携施設で、手技手法は標準化されており、研修施設が変わっても同等のスキルを身につけることができます。3.耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門分野は多く、それぞれのグループに所属することで、より深く研修を積むことが可能です。4.名古屋市立大学が主催する研修・研究会は多く、知識や経験を共有できることはもちろん、発表することもできます。5.基幹施設では自由に参加できる症例検討会や手術カンファレンスを開催しています。また、専門医試験に特化した専攻医向けの勉強会を毎月開催しています。

当院の手術件数

**554件** (2023年度)



### 基幹施設 名古屋市立大学病院

#### 主な連携施設

一宮市立市民病院 ・ 総合大雄会病院 ・ 海南病院 ・ 江南厚生病院 ・ 春日井市民病院 ・ 名古屋市立東部医療センター ・ 愛知県がんセンター中央病院 ・ 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 ・ 豊田厚生病院 ・ 安城更生病院 など

### ▶ 研修例

	1年次	2年次	3年次	4年次
A	名古屋市立大学病院	連携病院		
B	連携病院	名古屋市立大学病院	連携病院	
C	連携病院	名古屋市立大学病院	がんセンター	

# 眼科

## 名古屋大学医学部附属病院 眼科研修プログラム

名古屋大学眼科専門研修プログラムでは、豊橋市民病院で2年間の初期臨床研修修了後は、日本眼科学会所属の最初の2年のうち1年間は眼科専門医取得条件として必要なため名古屋大学病院で研修となります。前後して関連病院等で臨床経験を積むこととなります。

豊橋市民病院は東三河地区の中核病院であるため、軽症から重症まで非常にバリエーション豊富な眼科症例を経験することができます。手術症例も、白内障を主として、硝子体・緑内障・斜視・眼瞼手術等も施行しています。網膜光凝固術(年間138件/2023年度)、硝子体・テノン嚢下注射(年間525件/2023年度)なども多く施行しています。

当院の手術件数 **1,974件** (2023年度)

### 基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

#### 主な連携施設

藤田医科大学病院 ・ 浜松医科大学病院 ・ 秋田大学病院 ・ 名古屋医療センター  
聖隷浜松病院 など

### ▶ 研修例

	1年次	2年次	3年次	4年次
A	名古屋大学医学部附属病院	豊橋市民病院(関連病院)		
B	名古屋大学医学部附属病院	名古屋大学大学院(臨床・基礎研究)・関連病院		

# 皮膚科

## 名古屋大学医学部 皮膚科研修プログラム

名大皮膚科は専門外来として、遺伝病外来、アレルギー外来、色素異常症外来を設けており、外来患者数は1日平均100名以上です。また、愛知県内の皮膚癌治療センターとなっており、年間手術件数は357件を超えています。研究の面では、いくつかのグループを作り、指導医との連携を強め、多様な研究結果を創出しています。豊橋市民病院は研修連携施設であり、指導医の下、地域医療の中核病院の勤務医として、急性期疾患、頻繁に関わる疾病に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、第一線の救急医療、処置、手術法、病診連携を習得します。名大病院とは適宜、症例写真・病理組織情報などについての情報交換を密にして、研修医の研修の一助としています。

当院の手術件数 **88件** (2023年度)

### 基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

#### 主な連携施設

国立がん研究センター中央病院・稲沢市民病院中京病院・名古屋医療センター一宮市立市民病院・県立多治見病院・陶生病院など

### ▶ 研修例

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
A	名古屋大学病院	連携病院			
B	名古屋大学病院		連携病院		
C	連携病院	名古屋大学病院	連携病院		
D	連携病院		名古屋大学病院	連携病院	準連携病院
E	名古屋大学病院	連携病院		準連携病院	連携病院
F	名古屋大学病院	連携病院		名古屋大学大学院	
G	連携病院	名古屋大学病院			

A,D,E：ただちに皮膚科専門医として活躍できるように連携施設で臨床医としての研修に重点をおいたコース。原則として1年ごとでの異動。

# 泌尿器科

## 名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科専門研修プログラム

当院は連携施設の中でも最も豊富な手術症例数を誇り、小児泌尿器科領域以外の基本的な手術はほぼすべて経験することが可能です。3年の専門医研修期間中、2年を当院・1年を名古屋大学で行います。

詳細なプログラム全体内容については変更もあるため当院では把握できておりません。名古屋大学泌尿科学教室(052-744-2985)にお問い合わせください。



当院の手術件数 **534件** (2023年度)

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 ・ 刈谷豊田総合病院など

### ▶ 研修例

	1年次	2年次	3年次
A	豊橋市民病院	名古屋大学医学部附属病院	
B	豊橋市民病院		名古屋大学病院

# 放射線科

## 名古屋大学医学部附属病院 放射線科専門研修プログラム

診断3名、治療2名の放射線科専門医が業務を担当しています。画像診断についてはCT、MRI、PETを含むアイソトープ検査を経験でき、指導医が丁寧に迅速な指導を行います。当院は急性期から慢性期まで対応しており、高性能の画像検査装置を導入しているため、幅広い検査を経験できます。IVRは、IVR専門医の下で血管系、非血管系併せて年間100例以上を経験可能です。治療部門は緩和照射から根治照射まで幅広く実施しています。定位照射、高度変調放射線療法などの高精度治療、子宮腔内照射などの特殊治療にも対応しています。

診断・治療ともに、他診療科の豊富な症例を基に、充実した研修が可能です。研修会への出席や学会発表も奨励しています。

### 基幹施設

名古屋大学医学部附属病院

### 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・安城更生病院・愛知県がんセンター・岐阜県立多治見病院など

当院で経験できる症例数

画像診断件数 **2,000件/年**

IVR件数 **100件/年**

放射線治療件数 **100件/年**

### ▶ 研修例

	1年次	2年次	3年次
A	豊橋市民病院	名古屋大学医学部附属病院	
B	豊橋市民病院		名古屋大学病院



# 麻酔科

## 名古屋大学医学部附属病院 麻酔科専門研修プログラム

名大麻酔科専門医プログラムは20以上の施設が参加する大規模なプログラムで、研修先は本人の希望が尊重されます。入局も強制されません。

豊橋市民病院は東海地方有数の外科系の強い病院として、バリエーション豊富な麻酔症例があり、あらゆる症例に対応できる能力が身に付きます。専門医取得に必要な症例経験は約1年半で修了できます。移植外科など特殊な症例も経験できます。新生児などの小児症例も充実しています。全16室の手術室には医療機器も大学病院レベルの物が揃い、最新の麻酔法を習得できます。一般病院では県内最多の13名の麻酔科専門研修指導医が丁寧な指導を行います。当院麻酔科での研修者の専門医試験合格率は今のところ100%です。

集中治療専門研修の認定施設です。希望者は研修後半に半年間のICU専従期間を設定することが可能です。休暇などのQOLも充実しています。



当院の麻酔科管理麻酔件数（2022年度）

**3,023件**

専攻医1人あたりの担当麻酔件数

**450件/年**

### 基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

#### 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・大垣市民病院・小牧市民病院・四日市市立病院  
名古屋掖済会病院・あいち小児保健医療総合センターなど

### ▶ 研修例

\* ICU研修は任意です。 \* 表示例以外のパターンも相談に応じます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
A	豊橋市民病院(麻酔)			名大病院
B	豊橋市民病院(麻酔)		豊橋市民 (ICU)	名大病院
C	豊橋市民病院(麻酔)		名古屋大学病院(麻酔・ICU)	

# 病理診断科

名古屋大学医学部病理専門研修プログラム  
静岡県・浜松医科大学病理専門研修プログラム

名古屋大学と浜松医科大学の両方の連携施設となっており、どちらかのプログラムで、研修することになります。豊橋市民病院は東三河地区の基幹病院であり、豊橋市のみならず周辺地域からの多数の患者様を診療しています。そのため、一般的な病気から難病までの豊富な症例があり、当院での通常業務で専門医取得に必要な症例を経験することができます。さらに一般病院ながら、免疫染色やFISH検査のための機器や試薬を多数そろえており、最新の知見に基づいた病理診断のための検索が可能です。

## 当院年間の病理診断件数（2022年度）

生検	10,000件
手術検体	2,000件
術中迅速診断	584件
剖検	15件
CPC	10回/年



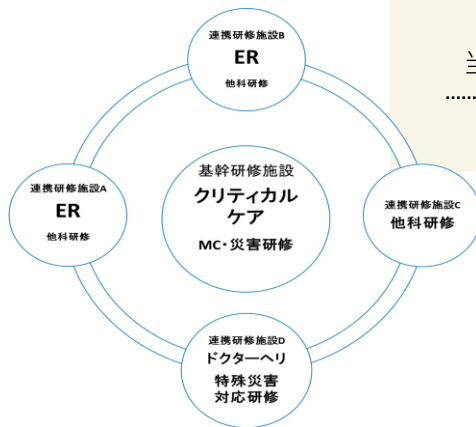


# 救急科

## 名古屋大学医学部附属病院 東海圏救急科専門研修プログラム

名古屋大学医学部附属病院の連携病院体制として、研修施設要件を満たした救命救急センターなどを中心として合計8施設によって救急科専門医を育成する連携教育を行います。

基本モジュールごとの研修期間は、重症救急症例の病院前診療・初期診療・集中治療(クリティカルケア)診療部門12か月、ER診療部門12か月を基盤として、希望に応じて修練希望領域の研修(放射線科、感染症科など)をプログラムします。名古屋大学病院では救急初期診療および集中治療を主担当医として学ぶ他、研修プログラムの施設群として以下の病院群で非常に多くの救急症例数を経験し、救急科専門医の道を開くことができます。細かな研修内容については、施設見学や質問等により、適切に対応させていただきます。



当院救急車搬入件数 **8,615件** (2022年)

### 基幹施設

名古屋大学医学部附属病院

### 主な連携施設

あいち小児保険医療総合センター ・ 小牧市民病院  
静岡済生会総合病院 ・ 大同病院 ・ 中東遠総合医療  
センター ・ 名古屋掖済会病院 ・ 豊橋市民病院

## 研修例

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
A	名古屋大学病院	連携施設病院 ER研修・ICU研修 ※3か月以上の単 位で個別プログラ ミング	集中治療研修 プレホスピタル研修 IVR/外傷研修	名古屋大学 (専門医習得)	名古屋大学(集 中治療 専門医習得)

研修修了↑※研修期間：3年

※1年目：ER全般と集中治療の全般トレーニング

2年目：3～6か月を基本単位とし、救急領域に必要な技能を経験

3年目：技術を高めるトレーニング時期